

中間報告書

(2019年8月29日発行)

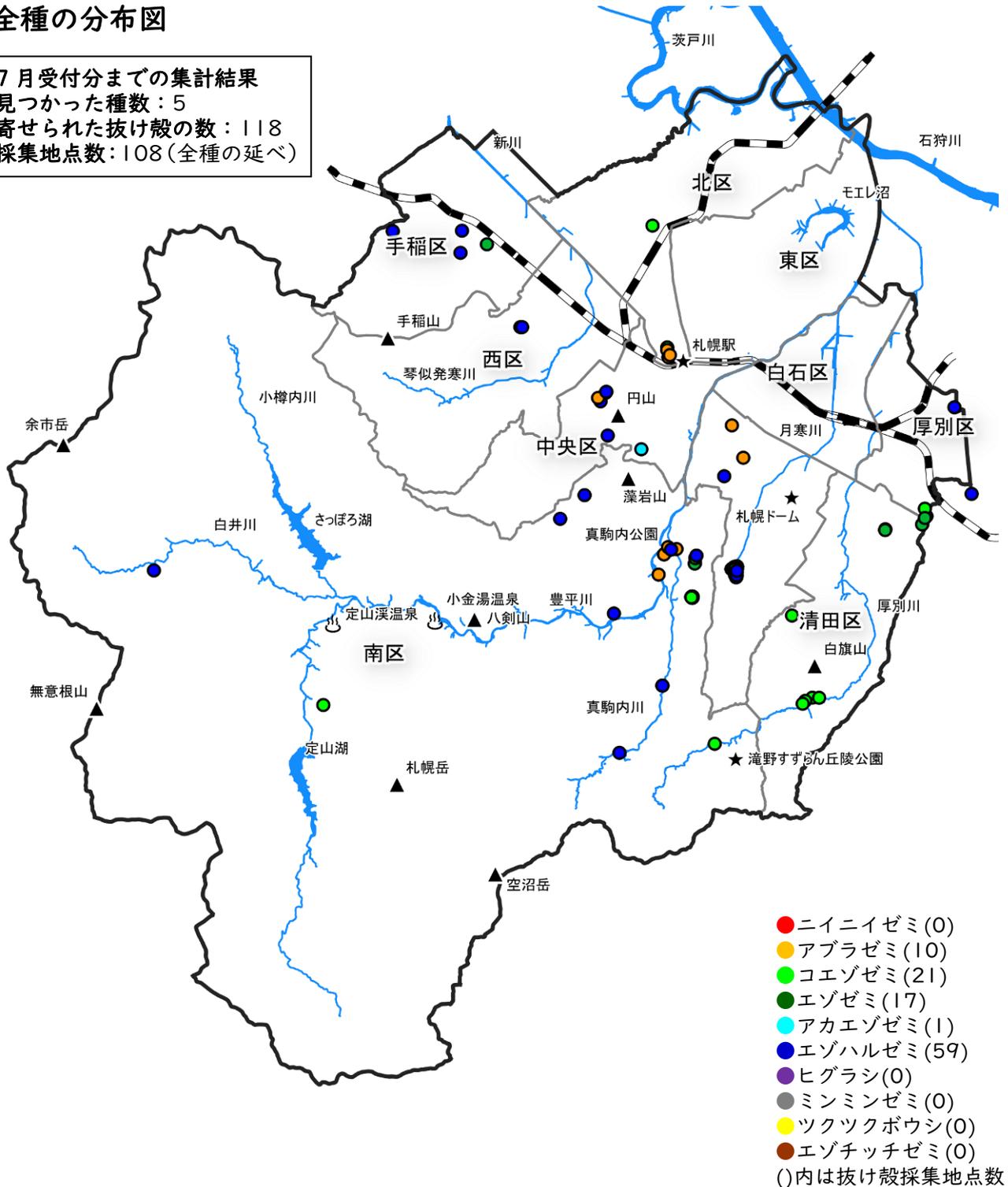
発行：札幌市博物館活動センター
編集：札幌昆虫自然史研究会

夏の暑さも落ち着いてきましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか？

「2019 札幌市セミ調査」は 8 月 29 日現在、107 名のセミ調査員の方と調査をしています。8 月もたくさんの方の抜け殻が届けられていますが、この報告書では同定・登録が完了した 7 月受付分までの集計結果をお知らせします。札幌市内から 5 種、118 個体 (+ 市外 1 個体) のセミの抜け殻が集まりました。

全種の分布図

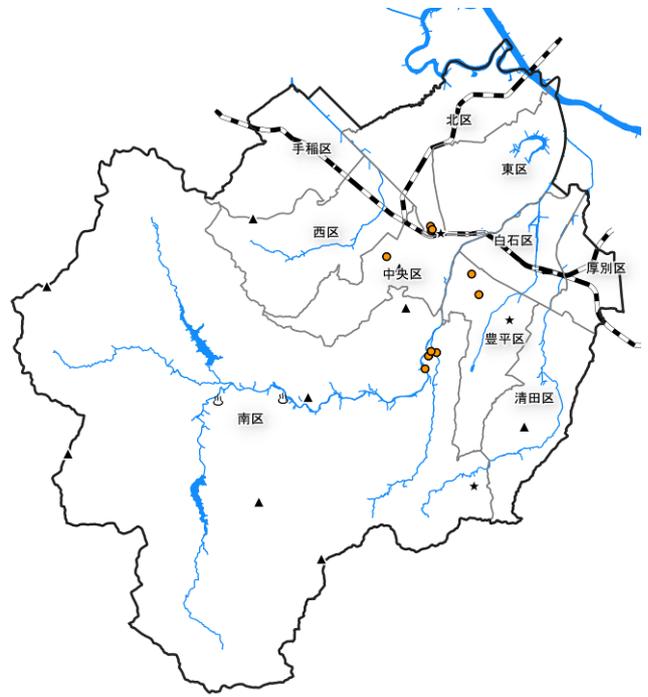
7月受付分までの集計結果
見つかった種数：5
寄せられた抜け殻の数：118
採集地点数：108(全種の延べ)



● アブラゼミ

寄せられた抜け殻の数：10 個体
採集地点数：10 地点（延べ）

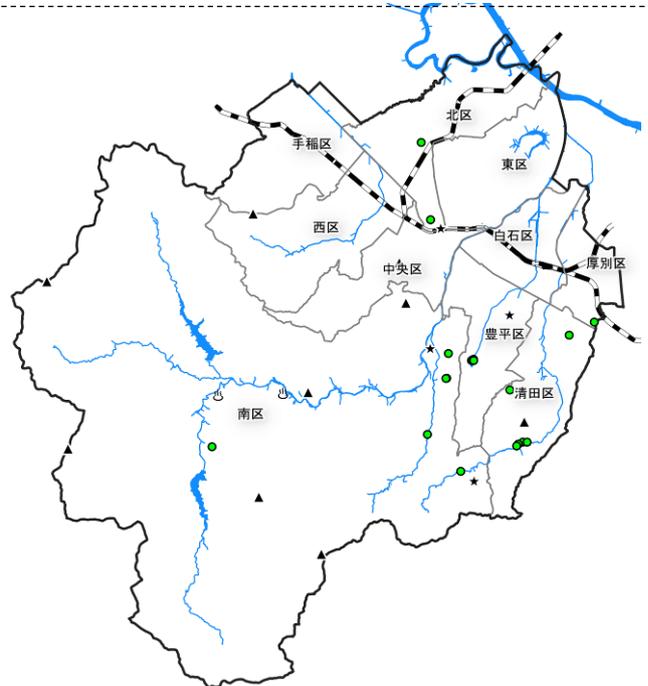
主に平地の公園などで見つかります。今年は例年に比べて発生個体数が少ないようです。



● コエゾゼミ

寄せられた抜け殻の数：21 個体
採集地点数：21 地点（延べ）

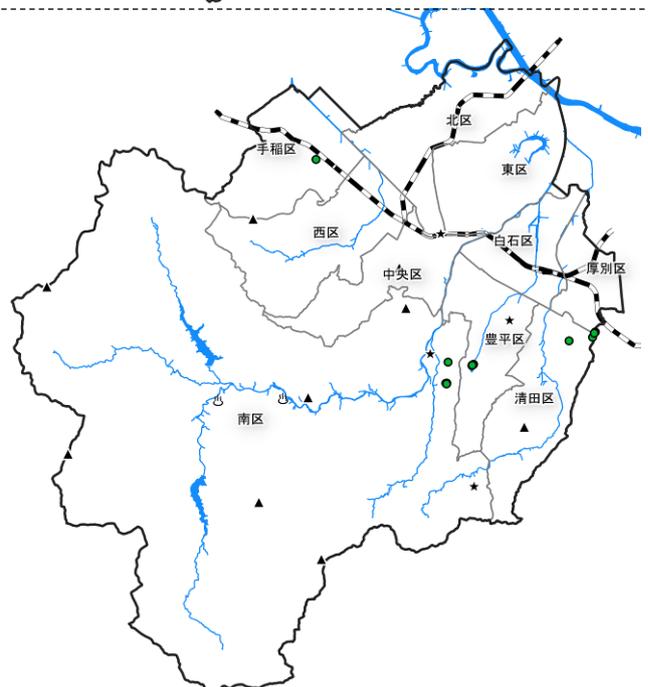
森林に多いセミですが、北区の防風林や北海道大学構内のような平地の小規模な林からも見つかりました。



● エゾゼミ

寄せられた抜け殻の数：17 個体
採集地点数：17 地点（延べ）

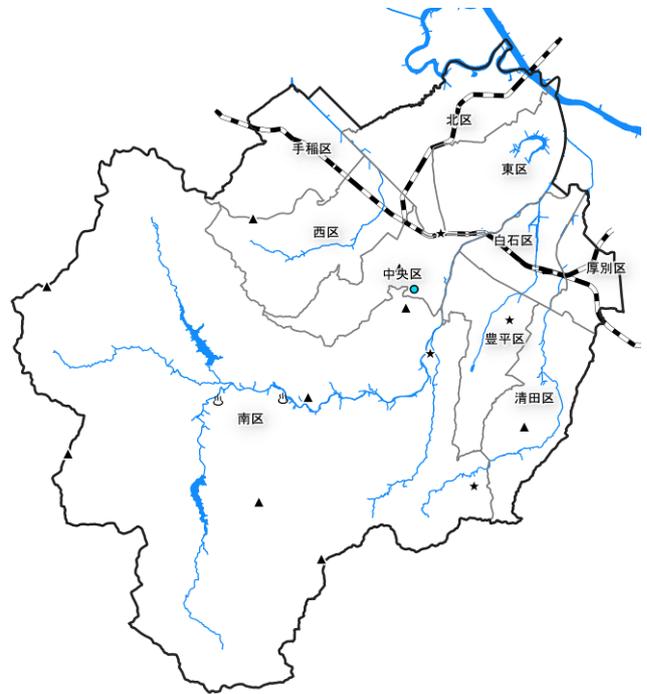
平地から低山地にかけて見つかります。



●アカエゾゼミ

寄せられた抜け殻の数：1 個体
採集地点数：1 地点

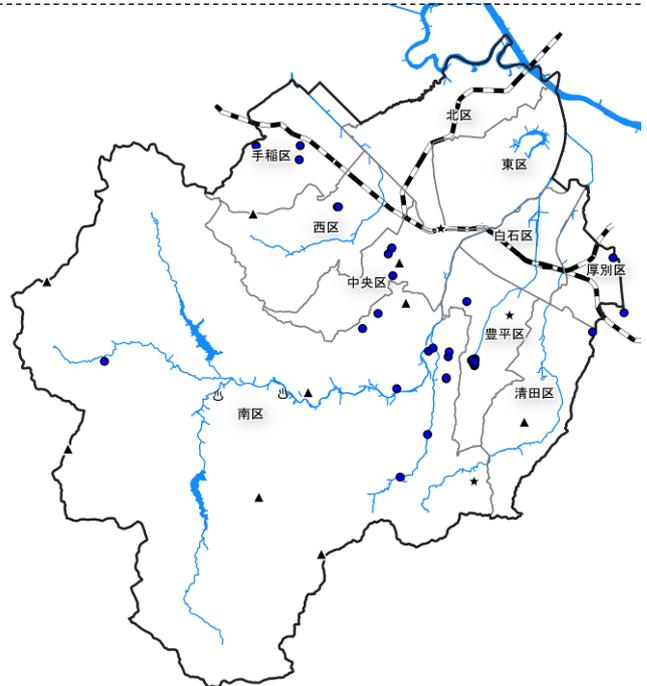
前回の調査では見つからない、新たな場所から見つかりました。



●エゾハルゼミ

寄せられた抜け殻の数：69 個体 (+市外 1)
採集地点数：59 地点 (延べ) (+市外 1)

今年は例年に比べて発生量が多かったようで、抜け殻も良く見つかります。春に発生するゼミで、もう鳴き声は聞こえませんが、抜け殻はまだ木の幹などに残っています。



セミの産卵

毎年セミの抜け殻が見つかる場所では、その付近でメスが産卵しているかもしれません。産卵場所は種類によって多少異なりますが、例えば、コエゾゼミやエゾゼミなどのエゾゼミ類は細い枯れ枝に産卵します。右の写真のように産卵管を枝に刺し込んで、数個ずつ卵を産んでいきます。産卵した後は「ささくれ」のような痕(円内)が残ります。夏の終わりから秋にかけては夏に発生するセミの産卵シーズンです。もし細い枝に止まっているセミを見つけたら、そっと近づいて観察してみましょう。(TK)



カラマツの枯れ枝に産卵するエゾゼミ

「セミの抜け殻探し隊 in 西岡公園」を開催しました。

7月28日(日)に夏休み体験学習会「セミの抜け殻探し隊」を西岡公園で開催しました。小学生と保護者合わせて25名が専門家と一緒に公園内でセミの抜け殻を探しました。抜け殻の種類を見分けるのは、細かい部分も見なければならず、なかなか難しかったようです。

水源池の東の森ではエゾハルゼミしか見つかりませんでした。針葉樹などが植樹された人工的な環境が多い北西部ではエゾハルゼミは少なく、コエゾゼミとエゾゼミが良く見つかりました。

札幌市博物館活動センター「セミの抜け殻探し隊」しらべ

7月28日(日)に西岡公園で野外イベント「セミの抜け殻探し隊」を実施しました。
参加者のみなさんと園内で「セミの抜け殻」を探し、見つかった抜け殻の位置をまとめました。



札幌市博物館活動センター

〒062-0935

札幌市豊平区平岸5条15丁目1-6

TEL 011-374-5002

FAX 011-374-5014

<http://www.city.sapporo.jp/museum/>

編集後記

先月、北海道大学構内でコエゾゼミの鳴き声を聞きました。個体数は非常に少ないですが、毎年発生しているようです。そういうわけで抜け殻を見つけるチャンスは非常に少ないのですが、見つけた調査員の方がいました！しかも、ちょうど鳴き声を聞いた辺り！あのコエゾゼミは北大生まれだったのかもしれませんが。

先日は農学部前でエゾゼミの鳴き声を聞きました。このセミも時々北大構内で発生しています。この個体も北大生まれなのでしょう？(TK)